

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地									
日本工学院専門学校		昭和51年7月1日		千葉 茂		〒144-8655 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-3732-1111									
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地									
学校法人 片柳学園		平成25年3月1日		片柳 鴻		〒144-8655 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-6424-1111									
分野	認定課程名		認定学科名		専門士	高度専門士									
工業	芸術専門課程		グラフィックデザイン科		平成17年文部科学大臣 告示第177号	-									
学科の目的															
Macによるデザイン制作・画像加工の基礎から、ポスター・フライヤー・雑誌等印刷のためのコンピュータによる印刷入稿データ(DTP)技術の修得、デッサン・色彩・平面構成からグラフィック・イラストレーション等デザインセンスの基礎から応用を修得し、実践的な能力を備えた広告・印刷業界で活躍する人材を育成する。															
認定年月日															
平成27年2月17日															
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技								
3	年 昼間	2535時間	885時間	0時間	2505時間	0時間	0時間								
生徒総定員		生徒実員		留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数								
120人		108人		11人	3人	13人	16人								
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 授業日数の4分の3以上出席し試験を受験する。S:90点以上 A:80～90点 B:70～79点 C:60～69点 D:59点以下は不合格 P:単位認定										
長期休み	■学年始:4月1日～ ■夏 季:7月31日～9月3日 ■冬 季:12月23日～1月8日 ■学年末:3月17日～3月31日			卒業・進級 条件	進級要件 ①各学年の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること										
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。			課外活動	■課外活動の種類 卒業作品展示会、ボランティア活動、体育祭、学園祭 ■サークル活動: 有										
就職等の 状況※2	■主な就職先・業界等(平成28年度卒業生) (株)あとらす二十一 (株)ADKアーツ (株)スパイス等 ■就職指導内容 就職ガイダンス等において履歴書やエントリーシートの書き方の説明を実施。随時、個別面談を行う。 また就職模擬試験(筆記試験)と模擬面接を実施。 ■卒業者数 37 人 ■就職希望者数 34 人 ■就職者数 32 人 ■就職率 94.1 % ■卒業者に占める就職者の割合 86.5 % ■その他 ・進学者数: 0人 (平成 28 年度卒業者に関する 平成29年5月1日 時点の情報)			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成28年度卒業生に関する平成29年5月1日時点の情報) <table><tr><td>資格・検定名</td><td>種</td><td>受験者数</td><td>合格者数</td></tr><tr><td>ビジネス能力検定</td><td>③</td><td>35人</td><td>30人</td></tr></table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	ビジネス能力検定	③	35人	30人
資格・検定名	種	受験者数	合格者数												
ビジネス能力検定	③	35人	30人												
中途退学 の現状	■中途退学者 12 名 ■中退率 9.1 % 平成28年4月1日時点において、在学者132名(平成28年4月1日入学者を含む) 平成29年3月31日時点において、在学者120名(平成29年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更(就職・進学)、経済的理由、病気治療、成績不良 等 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任と科長による面談。懇談会・電話連絡等による保護者との情報共有。 担任による指導の他、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはカウンセリングルーム等を設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。														
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 片柳学園創立70周年記念奨学金 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載														
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)														
当該学科の ホームページ URL	http://www.neec.ac.jp/departmen/														

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)

における企業等との連携に関する基本方針

グラフィックデザイン分野に関し、適宜、企業等へのヒアリングを実施し、実務に関する知識、技術を調査して、カリキュラムに反映させる。カリキュラムについては年度ごとに総合的に検証する。授業科目のシラバスをもとに、科目担当教員と企業講師との間で意見交換を行い、内容や評価方法を定める。また、学習評価を踏まえ、授業内容・方法等について検証する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会は、学校長を委員長とし、副校長、学科責任者、教育・学生支援部員、学科から委嘱された業界団体及び企業関係者から各3名以上を委員として構成する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成29年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
浅野 健	印刷工業会副会長／株式会社金羊社代表取締役会長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	①
古木 勝紀	三本旗合同会社 代表	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	③
犬飼 健二	有限会社犬飼デザインサイト取締役社長・アートディレクター	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

②学会や学術機関等の有識者

③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年2回

(開催日時)

第1回 平成29年3月28日 13:00～15:00

第2回 平成29年9月28日 15:00～17:00

第3回 平成30年3月 予定

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

専門学校では、社会と接点を持った実践的なデザイン教育を行うべきとの委員から意見を踏まえ、地域や企業と連携して課題制作を行っている。こうした実践的な課題の中で、学生たちは表現力、技術力に加え、問題解決力やプレゼンテーションスキルを向上させている。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

実践的な指導を受けるにあたり、関連分野の実績や、知識、技術、制作管理能力に基づく指導力を有する講師の派遣協力が得られる企業を選定し、両社で合意したシラバスに基づき授業運営を行う。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

学科担当教員と企業派遣講師との間でデザイン技術や知識について意見を交換し、授業計画、評価方法、学生指導上の問題点、改善案などを計画し、実際に授業を行う。授業の成果物をもとに派遣講師が採点し、学科担当教員が成績評価・単位認定を行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
コンピュータグラフィックス1	Illustrator、Photoshopの知識と基礎技術を習得します。	有限会社 akkdy-f
グラフィックデザイン実習1	書籍や雑誌の編集デザインに関する知識と技術を学び、企画提案からデザイン制作までを実践する。	有限会社 シエル

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

講義と実習、演習の精度を高めるため、学科関連企業の協力のもと、企業等連携研修に関する規定における目的に沿い、学科の内容や教員のスキルに合わせた最新の技術力と技能、人間力を修得する。また、学校全体の教員研修を実施することにより、学生指導力の向上を図り、次年度へのカリキュラムや学科運営に反映させる。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

平成29年8月28日10:00-12:00、蒲田キャンパスにおいて、株式会社マイナビティーンズ事業推進部の方をお招きし、「今どきティーン女子の実態」と題して最近のティーン世代のゲームやアプリ、コンテンツに対する意識や利用実態などの現状を聴講、把握した。

②指導力の修得・向上のための研修等

平成29年3月31日10:00～12:00、蒲田キャンパスにおいて、本郷さくら総合法律事務所、淑徳中学・高等学校社会科教諭の神内聡弁護士をお迎えし、問題のある学生・保護者への対策として、様々な教育現場の悩みとその解決方法などの事例を聴講し、今後の学生指導にとって有用となる知見を得た。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

デザイン、印刷、コンテンツ業界の現状と展望(ユーザの実態など)

平成30年3月および8月の実施を予定。

②指導力の修得・向上のための研修等

学生指導における教員のあり方について(さまざまな状況下における教員の指導方法とその事例)

平成30年3月および8月の実施を予定。

http://www.neec.ac.jp/common/pdf/announcement/23390/29_opendata_neec.pdf

授業科目等の概要

(芸術専門課程 グラフィックデザイン) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			ビジネススキル	社会人に求められるマナーやコミュニケーション能力について理解します。	1・前	30	2	○			○		○		
○			キャリアデザイン1	さまざまな事例を通してデザイナーの仕事を理解します。	1・後	30	2	○			○		○		
○			コンピュータリテラシー1	ビジネスソフトの使い方を学びます。	1・前	15	1			○	○			○	
○			コンピュータリテラシー2	プレゼンテーションソフトの使い方を学びます。	1・後	15	1			○	○			○	
		○	スポーツ実習1	冬季期間中のスキーやスノーボードの集中授業をはじめ、さまざまなスポーツの実習を行います。	1・通	30	1			○		○	○		
○			デザイン概論	デザインの領域とその変遷について学びます。	1・前	30	2	○			○			○	
○			美術概論	美術史における歴史的な表現について学びます。	1・後	30	2	○			○			○	
○			デザイン各論1	人間工学／コミュニケーション論を学びます。	1・前	30	2	○			○			○	
		○	デザイン各論2	インテリアエレメント／プロダクトデザイン理論を学びます。	1・前	30	2	○			○			○	
		○	デザイン各論3	印刷概論／デジタルデザイン理論を学びます。	1・前	30	2	○			○			○	
		○	デザイン各論4	インテリア技術／プロダクトデザイン理論を学びます。	1・後	30	2	○			○			○	

授業科目等の概要

(芸術専門課程 グラフィックデザイン) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	デザイン各論5	書籍の編集デザイン／Webデザイン概論を学びます。	1・後	30	2	○			○			○	
		○	資格対策講座1	CAD利用技術者、Webデザイナー検定などの合格をめざす対策講座です。	1・通	15	1	○			○			○	
		○	色彩検定講座1	色彩検定の合格を目指す講座です。	1・通	15	1	○			○			○	
○			コンテンツデザイン実習1	静止画を用いたコンテンツ制作スキルを身につけます。	1・後	45	1			○	○			○	
○			コンピュータグラフィックス1	Illustrator、Photoshopの知識と基礎技術を習得します。	1・前	45	1			○	○			○	○
○			コンピュータグラフィックス2	Illustrator、Photoshopを使用し、さまざまなツールを制作します。	1・後	45	1			○	○			○	
○			基礎デザイン1A	鉛筆による静物デッサンを通じて観察力、基礎描写力を身に付けます。	1・前	90	3			○	○			○	
○			基礎デザイン2A	平面構成、色彩計画、タイポグラフィなどグラフィックデザインの基礎を学びます。	1・後	90	3			○	○			○	
○			基礎デザイン1B	紙、粘土などを使った実習により、立体・空間構成力を身に付けます。	1・前	90	3			○	○			○	
○			基礎デザイン2B	立体物のデザインとその表現方法を学びます。	1・後	90	3			○	○			○	
○			デザイン総合演習1	デザインの総合的な力を身につけます。	1・前	45	1			○	○			○	
○			デザイン総合演習2		1・前	30	1			○	○			○	

授業科目等の概要

(芸術専門課程 グラフィックデザイン) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			デザイン総合演習3	デザインの総合的な力を身につけます。	1・後	45	1			○	○			○	
○			デザイン総合演習4		1・後	30	1			○	○			○	
		○	海外デザイン研修1	海外デザイン研修を通じて、デザイナーとしての視野を広げます。	1・通	30	1	○				○		○	
○			キャリアデザイン2	特別講義などでデザインの仕事を理解すると共に、SPIなど筆記試験対策も実施します。	2・前	30	2	○			○		○		
○			キャリアデザイン3	就職希望企業の研究、ポートフォリオ準備、履歴書・面接対策などを行います。	2・後	30	2	○			○		○		
		○	スポーツ実習2	冬季期間中のスキーやスノーボードの集中授業をはじめ、さまざまなスポーツの実習を行います。	2・通	30	1			○		○		○	
○			コンセプトワーク	問題点を抽出し、企画を立案するプロセスについて学びます。	2・前	30	2	○			○			○	
○			メディアリテラシー	メディアの読み取り方を学び、その役割を考えます。	2・前	30	2	○			○			○	
○			作品研究	さまざまな作品を鑑賞し、表現の多様性について学びます。	2・後	30	2	○			○			○	
○			デザイン関連法規	著作権など、デザインに関連した法律知識を身につけます。	2・後	15	1	○			○			○	
○			コミュニケーションデザイン	地域社会を題材にデザインプランを検討、提案します。	2・前	30	2	○			○			○	
○			アートディレクション	さまざまな事例を通して、ディレクションの役割やコンセプトについて学びます。	2・後	30	2	○			○			○	

授業科目等の概要

(芸術専門課程 グラフィックデザイン) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	資格対策講座2	CAD利用技術者試験、Webデザイナー検定などの合格を目指す対策講座です。	2・通	15	1	○			○			○	
		○	色彩検定講座2	色彩検定の合格を目指す対策講座です。	2・通	15	1	○			○			○	
		○	デザイン特論1	デザインカレッジの他学科の講座から選択して受講します。	2・前	30	2	○			○			○	
		○	デザイン特論2		2・後	30	2	○			○			○	
○			デザイン総合演習5	実習課題のまとめを行います。	2・前	30	1			○	○			○	
○			デザイン総合演習6		2・後	30	1			○	○			○	
○			グラフィックデザイン実習1	書籍や雑誌の編集デザインに関する知識と技術を学び作品を制作します。	2・前	45	1			○	○			○	○
		○	グラフィックデザイン実習2	実制作を通してグラフィックデザイナーとしての技術力、表現力を磨きます。	2・後	90	3			○	○			○	
○			イラストレーション実習1	イラストレーション、絵本に関する知識と技術を学び作品を制作します。	2・前	45	1			○	○			○	
		○	イラストレーション実習2	実制作を通してイラストレーターとしての技術力、表現力を磨きます。	2・後	90	3			○	○			○	
○			Webデザイン実習1	CSSなどを用いたWebサイトの構築技術を学びます。	2・前	45	1			○	○			○	
		○	Webデザイン実習2	HTML 5などを用いて、動的なWebサイトの構築技術を学びます。	2・後	90	3			○	○			○	

授業科目等の概要

(芸術専門課程 グラフィックデザイン) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			グラフィックデザイン総合実習1	広告表現に関する知識と技術を学び作品を制作します。	2・前	135	4			○	○			○	
○			グラフィックデザイン総合実習2	各自のテーマに基づき作品を制作します。	2・後	90	3			○	○			○	
○			デザイン実践演習1	デザインカレッジ合同プロジェクト、企業課題、委託研究などに取り組みます。	2・後	90	3			○	○			○	
		○	海外デザイン研修2	海外デザイン研修を通じて、デザイナーとしての視野を広げます。	2・通	30	1	○				○	○		
		○	インターンシップ1	デザイン業界における短期研修です。	2・前	60	2			○		○		○	
		○	インターンシップ2		2・後	60	2			○		○		○	
○			キャリアデザイン4	就職希望企業の研究、ポートフォリオ準備、履歴書・面接対策を行います。	3・前	30	2	○			○		○		
○			キャリアデザイン5	個別の就職活動指導を行います。	3・後	30	2	○			○		○		
		○	スポーツ実習3	冬季期間中のスキーやスノーボードの集中授業をはじめ、さまざまなスポーツの実習を行います。	3・通	30	1			○		○		○	
		○	資格対策講座3	CAD利用技術者、Webデザイナー検定などの合格をめざす対策講座です。	3・通	15	1	○			○			○	
		○	色彩検定講座3	色彩検定の合格を目指す対策講座です。	3・通	15	1	○			○			○	
		○	デザイン特論3	デザインカレッジの他学科の講座から選択して受講します。	3・前	30	2	○			○			○	

授業科目等の概要

(芸術専門課程 グラフィックデザイン) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	デザイン特論4	デザインカレッジの他学科の講座から選択して受講します。	3・後	30	2	○			○			○	
○			デザインリサーチ	卒業制作作品のための情報収集をし、企画をまとめます。	3・前	30	2	○			○			○	
○			デザイン実践演習2	デザインカレッジ合同プロジェクト、企業課題、委託研究などに取り組みます。	3・後	180	6			○	○			○	
○			グラフィックデザイン総合実習3	各自のテーマに基づき作品およびポートフォリオを制作します。	3・前	180	6			○	○			○	
		○	海外デザイン研修3	海外デザイン研修を通じて、デザイナーとしての視野を広げます。	3・通	30	1	○				○		○	
		○	インターンシップ3	デザイン業界における短期研修を実施します。	3・前	60	2			○		○		○	
		○	インターンシップ4		3・後	60	2			○		○		○	
○			卒業制作	各自のテーマに基づき3年間のまとめとしての作品を制作します。	3・後	360	12			○		○		○	
合計				67 科目	3390 単位時間 (136 単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業時に必修科目2445時間(94単位)取得および選択科目を90時間(3単位)以上取得し、合計2535時間(97単位)以上取得すること	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業期間	15 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。